

令和8年度

徳島県学カステップアップテストを 活用した学習指導について

【小学校国語】



令和8年4月

令和8年度 小学校第5学年 国語

- 注意
- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
 - 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、名前を書いてください。
 - 3 問題は、1ページから15ページまであります。
 - 4 答えは、すべて解答用紙の指示された場所にはっきりと書いてください。

組	出席番号	名前

平均正答率・領域別正答率（％）

	全体	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
令和8年度 5年生	42.2 (12.1)	39.6 (6.4)	56.3 (3.4)	43.4 (11.5)	31.1 (29.7)
令和7年度 5年生	57.9 (3.1)	64.2 (1.8)	64.7 (1.2)	45.2 (3.6)	45.2 (8.1)

※（ ）は無解答率

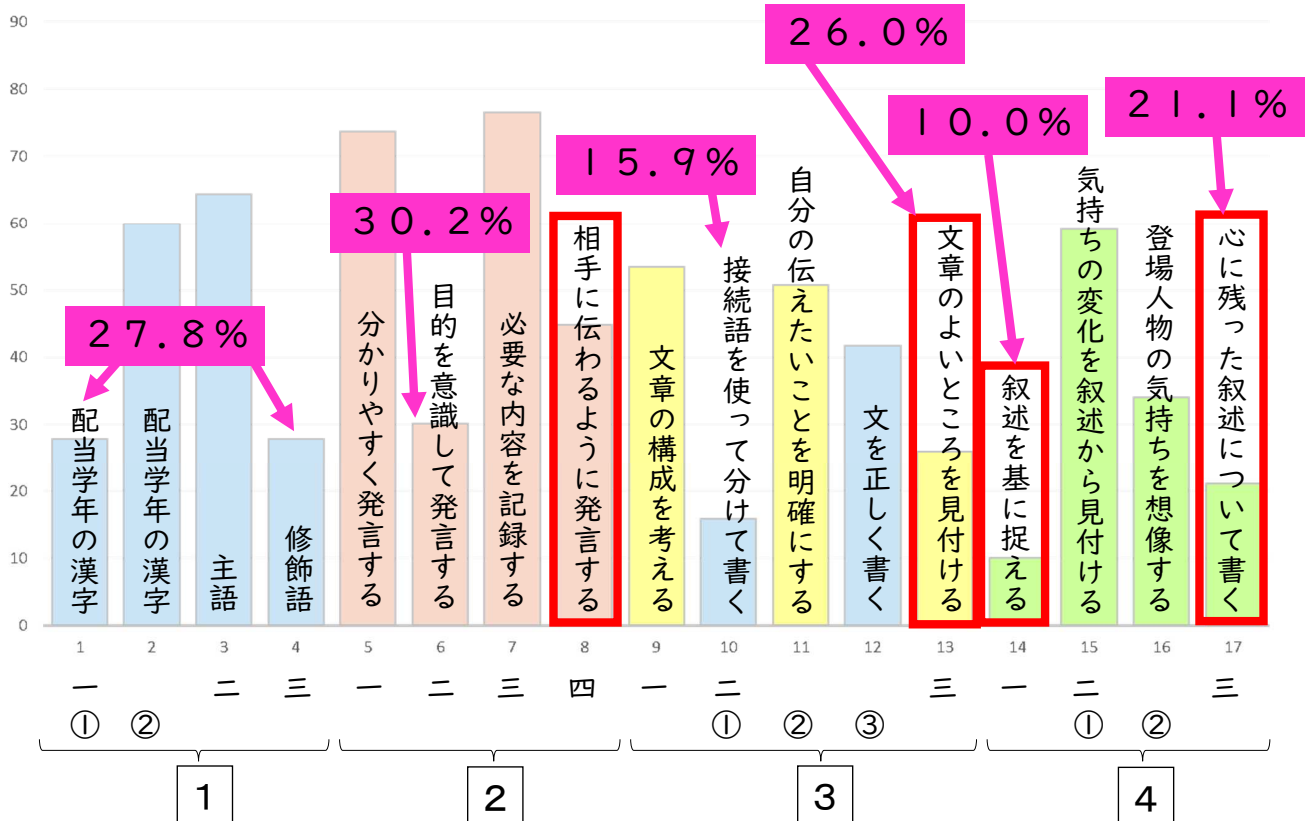
設問別正答率

知識及び技能

話す・聞く

書く

読む



令和８年度 ステップアップテストの結果・分析から

成果

○知識及び技能

- ①主語について理解する。

○思考力、判断力、表現力等

- ①相手に伝わりやすく発言する。
- ②目的に応じて、必要な内容を記録する。

令和８年度 ステップアップテストの結果・分析から

課題

○知識及び技能

- ①漢字(同音異義語)を正しく使う。
- ②修飾語について理解する。
- ③接続語を使って内容を分けて書く。

○思考力、判断力、表現力等

- ①話し合いの目的を意識して発言する。
- ②自分の文章のよいところを見付ける。
- ③登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉える。
- ④心に残った叙述とその理由を、まとめて書く。

大問Ⅰ（知識及び技能）

一 漢字（同音異義語）を正しく使う

四年生までに学習した

「コウ」と読む漢字

口 校 後 工 公 広 交 光 考
行 高 向 幸 港 功 好 候 康

27.8%

四年生までに学習した

「き」「キ」と読む漢字

気 汽 記 帰 起 期 希
季 旗 器 機 岐 木 黄

59.9%

○同じ読み方をする漢字の意味を、正しく捉える。
○自分の表現に使える場を設定する。

大問Ⅰ（知識及び技能）

三 修飾語について理解する

「ひらひらと」が修飾する言葉

1 たくさんの 2 花びらが
3 ひらひらと 4 風に
まっっている。

27.8%

（令和6年度5年）
「さいている」を修飾する言葉をすべて

1 野原に 2 黄色い
3 花が 4 たくさん

さいている。

8.3%

（令和7年度5年）
「遊んでいた」を修飾する言葉をすべて

1 日曜日に 2 公園で
3 たくさんの 4 子どもが

遊んでいた。

8.2%

大問1 (知識及び技能)

三 修飾語について理解する

今日、学校から帰っているときに、花びらが落ちてきました。きれかったです。



今日、学校から帰っているときに、**たくさん**の花びらが落ちてきました。**ひらひら**と**風**にまっ**て**いました。**上**を見ても下を見ても**ピンク**で、**と**てもきれかったです。

○修飾語を意識させる。
○文章を推敲する活動を取り入れる。

大問2 話すこと・聞くこと

二 話し合いの目的を意識して発言する

水島さんの学級では、一年生と交流会をすることになり、いっしょに何をするかについて、グループに分かれて話し合いをしています。

水島

わたしは、一年生との交流会は、一年生のみなさんが小学校での生活を楽しく感じ、わたしたち五年生とも仲良くなるような会にしたいと考えています。わたし自身、何をしたらよいか、考えているところです。みなさんは、どんなアイデアがありますか。

① 谷原

わたしは、一年生のみなさんに早く学校になれてほしいので、校内スタンプラリーがよいのではないかと考えました。校内スタンプラリーとは、一年生が五年生といっしょに学校のさまざまな場所を回りながら説明を聞き、スタンプを集めていくものです。

川本

学校のことを知ることができるので、よいのではないのでしょうか。でも、学校を全部回ると時間がかかるので、おもしろいと思います。わたしは、ドッジボールがよいと思います。ドッジボールは、みんなできいっしょにできるからです。一年生は、五年生といっしょにすることをこわがるかもしれませんが、ぜひ、いっしょにしてみたいです。

横田

たしかに、いい考えですね。ドッジボールは楽しいです。そういえば、来週の学級会で、ドッジボールをいっしょにしようと思っていますが、そのことにさん成の人はいますか。

② 小林

一年生といっしょに、紙コップけん玉づくりをしたいと考えています。材料をじゅんびするのは...

わたしは、

大問2 話すこと・聞くこと

二
で、②小林さんはどのような発言をした
でしょう。

- 1 今のしつ問に対して、意見があります。
- 2 議題について出された意見を整理します。
- 3 議題からそれているので、それは今度話し合ひましょう。
- 4 今のしつ問について、もう少し詳しく説明してください。

川本

学校のことを知ることができるので、よいのでは
いでしょうか。でも、学校を全部回ると時間がかか
るので、むずかしいと思います。わたしは、ドッジボ
ルがよいと思います。ドッジボールは、みんなでき
るからです。一年生は、五年生といっし
よにすることをこわがるかもしれませんが、ぜひ、い
しよにしてみたいです。

30.2%

横田

たしかに、いい考えですね。ドッジボールは楽しい
です。そういえば、来週の学級会で、ドッジボールを
てい案しようと思っしていますが、そのことにさん成の
人はいますか。

②小林

一年生といっしよに、紙コップけん玉づくりをした
と考えています。材料をじゅんびするのは...

○目的や進め方、自分の役割など
を考えながら話し合う。
○相手の発言を聞きながら、より
よい意見はないか考える。

大問2 話すこと・聞くこと

②小林さんの発言は、話し
合いの目的からそれた発言に
ついて、元にもどす発言です
ね。

川本さんは、友達の発言を
聞いて、相手の気持ちを考え
た言い方ができています。

発言をしている人が、自分
の意見といっしよに理由も入
れて話していますね。

水島

わたしは、一年生との交流会は、一年生のみな
が小学校での生活を楽しく感じ、わたしたち五年生と
も仲良くなるような会にしたいと考えています。わた
し自身、何をしたらよいのか、考えているところです。
みなさんは、どんなアイデアがありますか。

①谷原

わたしは、一年生のみなさんに早く学校になれてほ
しいので、校内スタンプラリーがよいのではないかと
考えました。校内スタンプラリーとは、一年生が五年
生といっしよに学校のさまざまな場所を回りながら説
明を聞き、スタンプを集めていくものです。

川本

学校のことを知ることができるので、よいのではな
いでしょうか。でも、学校を全部回ると時間がかか
るので、むずかしいと思います。わたしは、ドッジボ
ルがよいと思います。ドッジボールは、みんなでき
るからです。一年生は、五年生といっし
よにすることをこわがるかもしれませんが、ぜひ、いっ
しよにしてみたいです。

横田

たしかに、いい考えですね。ドッジボールは楽しい
です。そういえば、来週の学級会で、ドッジボールを
てい案しようと思っしていますが、そのことにさん成の
人はいますか。

②小林

一年生といっしよに、紙コップけん玉づくりをした
と考えています。材料をじゅんびするのは...

○話し合いのモデルを使っ
て、見付けたよさを観点
として示し、次の話し合
いに生かす。



大問3 書くこと

前田さんの学級では、自分たちの学級をどのような学級にしたいかについて、自分の考えを伝える文章を書くことにしました。

【文章の下書き】

わたしは、五年一組をあたたかい言葉であふれる学級にしたいと考えています。
みなさんは、友達からかけられた言葉で、心が元気になったことはありませんか。わたしは、とび箱があまりとく意ではなく、体育が始まる前は、不安でいっぱいでしたが、近くにいた友達に「いっしょにがんばろう。」と声をかけてもらい、ちよう戦することができました。そうして、何度か練習するうちに、少しずつこつをつかみ、台上前転ができるようになりました。友達の言葉がわたしにがんばる力をくれました。
学級の友達にも、心に残っているあたたかい言葉についてたずねてみました。
いちばん多かったものは、「ありがとう」でした。その理由は、「感しやの気持ちをほつきりと伝えてもらえるとうれしいから」のほかに、「自分の行動が役に立ったと感じることができるから」「一言だけど気持ちが伝わるから」などがありました。
次に多かったものは、「だいじょうぶ」でした。その理由は、「一人ではないと感じて安心するから」のほかに、「失敗してもこれから良くなるよと言われてる気がするから」「やさしさが感じられるから」などがありました。
そのほかに、「すごいね」「よくがんばったね」「その考え方がいいね」などの言葉がありました。
自分のかみとめられたり、自分のことを受け止めてくれたりすると、あたたかく感じるものが分かりました。あたたかい言葉は、言った人も言われた人も元気にするあたたかい言葉です。たった一言ですが、その言葉には大きな力があります。わたしは、五年一組をあたたかい言葉であふれる学級にしたいです。

大問3 書くこと

二 前田さんは、【文章の下書き】を読み返しています。

一文が長い

わたしは、五年一組をあたたかい言葉であふれる学級にしたいと考えています。
みなさんは、友達からかけられた言葉で、心が元気になったことはありませんか。わたしは、とび箱があまりとく意ではなく、体育が始まる前は、不安でいっぱいでしたが、近くにいた友達に「いっしょにがんばろう。」と声をかけてもらい、ちよう戦することができました。そうして、何度か練習するうちに、少しずつこつをつかみ、台上前転ができるようになりました。友達の言葉がわたしにがんばる力をくれました。
学級の友達にも、心に残っているあたたかい言葉についてたずねてみました。
いちばん多かったものは、「ありがとう」でした。その理由は、「感しやの気持ちをほつきりと伝えてもらえるとうれしいから」のほかに、「自分の行動が役に立ったと感じることができるから」「一言だけど気持ちが伝わるから」などがありました。
次に多かったものは、「だいじょうぶ」でした。その理由は、「一人ではないと感じて安心するから」のほかに、「失敗してもこれから良くなるよと言われてる気がするから」「やさしさが感じられるから」などがありました。
そのほかに、「すごいね」「よくがんばったね」「その考え方がいいね」などの言葉がありました。
自分のかみとめられたり、自分のことを受け止めてくれたりすると、あたたかく感じるものが分かりました。あたたかい言葉は、言った人も言われた人も元気にするあたたかい言葉です。たった一言ですが、その言葉には大きな力があります。わたしは、五年一組をあたたかい言葉であふれる学級にしたいです。

いちばん伝えたいこと

この文を直す

大問3 書くこと

二 前田さんは、【文章の下書き】を読み返しています。

見直すポイント【第3・4学年】

漢字と仮名の表記 送り仮名の付け方
改行の仕方 句点・読点の付け方
主語と述語との関係
修飾語のかかり方 適切な修飾語
指示する語句 接続する語句
段落の役割 敬体・常体の統一
文末表現の使い方
(断定、推量、疑問など)

文章を読み返すポイント

- ・相手に伝えたいことがはっきりと伝わるか。
- ・考えと理由や例がうまく結びついてるか。
- ・読み手になっとくしてもらおうような組み立てになっているか。
- ・書き出しをくふうする。
- ・会話を入れてみる。

大問3 書くこと

三 前田さんは、上野さんと【文章の下書き】を読み合い、感想を伝え合いました。

(問い)

前田さんは、上野さんと伝え合ったことをもとに、自分の【文章の下書き】をもう一度読み返し、よいところを書くことにしました。あなたが前田さんなら、どのように書きますか。

【伝え合いの一部】

前田 わたしの伝えたいことは、伝わっていますか。

上野 伝わってきましたよ。前田さんが、自分の体験したことを書いているからですね。

前田 よかったです。他に気がついたことはありませんか。

上野 学級の友達にたずねた言葉や理由を書いているので分かりやすかったです。あたたかい言葉のよさについて、考えることができました。

前田 ありがとうございます。自分でも、もう一度読み返そうと思います。次は、上野さんの文章を読んだ感想を伝えます。

(伝え合いは続く)

○自分の文章のよいところを見付けるための伝え合いとする。
○読むときのポイントを示す。

24.0%

書く習慣を育てる指導

書くことがおもしろい！楽しい！

授業や日常的に「書く」場面を組み込んでいく。

少しずつ・・・継続的に書き慣れさせる。

日記の例・・・一言感想、なりきり日記、もしもシリーズ、
手紙、〇〇紹介、テーマ日記、学習日記 等

○具体的に表現することで、より分かりやすく伝えることを実感させる。

○「くわしく書く」「様子が分かるように書く」とは
どういうことか、具体的にモデルを示す。

書く習慣を育てる指導

「書くことがない。」
「何を書いてよいか分からない。」
（題材をみつけることができない）
「どのように書けばよいのか分からない。」
「うまく書く自信がない。」



表現できる子どもを育てる3つのポイント

伝えたい「内容」がある。

伝える「技術」がある（方法がわかる）。

お互いを認め合い、伝える「場」がある。



目的意識

相手意識

場面意識

「書くこと」は、「考えること」

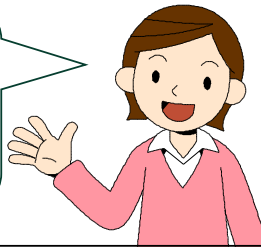
自分の考えを書く

- 自分の考えを振り返る。
- 自分の考えが整理される、分かる。
- 新しい考えが生まれる。

繰り返し行うことにより、
考えが深まっていく

とにかくほめる！

まず、伝えたい思いが書けたことや構成、上手な表現などを具体的にほめましょう。



教師がよき読者になる
安心させる

大問4 読むこと

平山さんの学級では、物語を読み、心に残ったところについて友達としようかいし合うことになりました。

一 平山さんは、「ぼく」の気持ちが表れているところをさがしています。平山さんは、【物語の一部】の――部ともう一か所、泣きそうになっているところがあると考えています。あなたが平山さんなら、どこだと考えますか。「ぼく」が泣きそうになっていると考えられる一文を、【物語の一部】の中から書きぬきましょう。

「まぶたの裏が急に熱くなった。胸がときどきして、息がつまる。」

【本の一部より】

【正答】
「あわてて言ったぼくの声も、ハナづまりになってしまった。」【本の一部より】

「叙述」・・・書かれている言葉や文章「叙述」を根拠にして、内容の理解や想像を深めていく。

大問4 読むこと

一 平山さんは、「ぼく」の気持ちが表れているところをさがしています。平山さんは、【物語の一部】の——部ともう一か所、泣きそうになっているところがあると考えています。あなたが平山さんなら、どこだと考えますか。「ぼく」が泣きそうになっていると考えると考えられる一文を、【物語の一部】の中から書きぬきましょう。

「ぼく」の気持ちが表れているところを見付けよう。

「まぶたの裏が急に熱くなった。胸がどきどきして、息がつまる。【本の一部より】」から、「ぼく」が泣きそうになったのではないかと思ったよ。

確かに、わたしも泣きそうになったとき、まぶたの裏に涙がじわっとにじんできたよ。「急に」という言葉からも・・・

他にも泣きそうになったところがあったかなあ。

「あわてて言ったぼくの声も、ハナづまりになってしまった。【本の一部より】」もそうだと思うよ。その前の「裕太」の様子について・・・



大問4 読むこと

三 平山さんは、【話し合いの一部】の□で、もう一つ心に残ったところとその理由を話しています。あなたが平山さんなら、物語を読んで、心に残ったところとその理由をどのように話しますか。

【話し合いの一部】

平山 わたしは、(㉞)をしめしながら「ダッシュでまた自分の部屋に戻って」のところが心に残りました。

安岡 なぜ、そこが心に残ったのですか。

平山 「ぼく」が、裕太に早くあやまりたい気持ちが表れていると思ったからです。そのあとにも、(㉞)をしめしながら「ポストに入れたら時間がかかるので、直接、あいつの家の郵便受けに入れた」とあるように、少しでも早く裕太にあやまりたいから、わざわざ家まで年賀状を持って行ったのではないかなと考えました。

安岡 たしかに。だから、そのまま公園でタコあげをしながら、裕太を待っていたのですね。

平山 なるほど。安岡さんが言うように、「ぼく」が裕太を思う気持ちが伝わってきますね。あともう一つ心に残ったところがあります。

安岡さんは、どこが心に残りましたか。

安岡 (㉞)をしめしながら最後の文です。四年生のときに学習した「ごんぎつね」では、最後の文の「青いけむり」という表現の意味について考えました。この物語でも、最後の文に出てくる「二つのタコ」の表現の意味について考えているところです。

(話し合いは続く)

大問4 読むこと

○「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのような表現に描かれているか」という表現面にも着目して読む。
○根拠を明確にして、自分の考えを伝える場を設定する。

たしかに。「なーに強がってんだよ」のところからも、裕太のことを思っていることが読み取れるね。
わたしは、最後の文が心に残ったよ。



一気に近づくのではなくて、「一歩」ずつというところが、二人がそれぞれ少しずつ歩み寄っているように感じたよ。



そういえば、「また一歩」という言葉がくり返して出てきたね。



ぼくと裕太が、「また一歩、また一歩。」と近づくところが心に残ったよ。二人の間のきよりが近づくにつれて、二人の心のきよりも近づいていると感じたからだよ。



学力向上のための授業改善

目指す子供の姿

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する活動において、目的や意図に応じて、必要な情報を選び、他者と伝え合うことを通して、自分の思いや考えをもったり、まとめたり、広げたりして、表現することができる。
- 課題解決に向けて活動に粘り強く取り組むなかで、言葉を通じて人と関わり、言葉がもつよさを認識しようとしたり、言葉をよりよく使おうとしたりしている。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、子供一人一人に最適な学びを重ねていく場の設定

◇振り返りやアンケート、学力調査等を活用し、子供一人一人のつまづきを捉えて指導する。

◇国語科で育成した資質・能力を他教科等の学習に生かすことができるように、教科等横断的な学習の充実を図る。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開

◇語彙の量と質の充実を図るために、読書活動の推進や実生活に関連した言語活動を取り入れるなどして、語句を蓄積することや蓄積した語句を意図的に使わせることに、継続的に取り組む。

◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等により、言葉による見方・考え方を働かせながら、考えを形成したり課題を解決したりする過程となるよう工夫する。

◇ICTを効果的に活用するなどして、他者と協働し、主体的に学習を進める。

◇子供の実態を的確に捉え、実態に即して、学習過程を弾力的にし、螺旋的・反復的に繰り返したり取り立てたりして指導する。

◇「徳島版読解力」の5つの力を意識して、発問や指示の工夫をしたり、学習活動を設定したりする。

「国語科における『令和8年度の重点』」より

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

③身に付けた資質・能力や学習内容を I C T活用等により自覚化を図る指導の充実

◇多様な学習の記録（ノート、成果物、映像等電子データ）が生まれるように工夫する。

◇書くことによる振り返りをしたり、I C Tの利用等により考えを共有したりすることで、学びを深めさせる。

「国語科における『令和8年度の重点』」より